

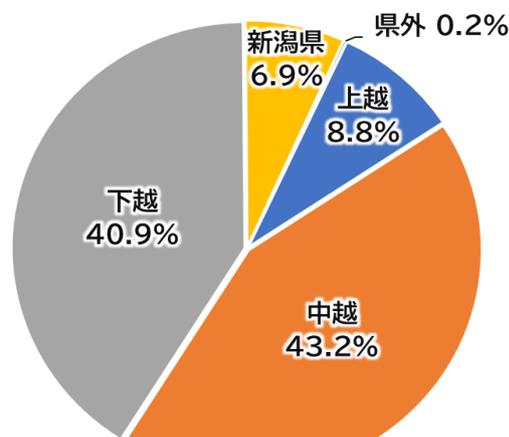
令和5年度の研修会 多くの方にご参加いただき ありがとうございました

新潟県立生涯学習推進センターの大きな役割の一つが、公民館職員や行政職員をはじめとした生涯学習・社会教育関係職員の資質向上研修の実施・運営です。令和5年度もセンターの研修会に多くの方からご参加をいただきました。今年度は、Zoomを使ったオンラインスタイルの研修の普及もあり、**県内全ての市町村から、延べ1,004人の参加がありました**。さらに多くの方に参加していただけるよう、より魅力的かつより実用的な研修会を運営していきます。

Zoomでの研修会 右のグラフは令和5年度に当センターの研修会を受講した方（延べ人数）の各地区の割合です。

新潟市を含む「下越」からの受講者を「中越」からの参加者が上回る結果となりました。オンラインやハイブリッド（対面&オンライン）の研修が一般化し、遠方の市町村からの参加者の割合が増えました。**移動を伴わず、職場を離れることなく手軽に研修に参加できるようになったことは、感染症の残した利点の一つと言えるでしょう。**また、オンラインで別の会場とつなぎ、複数名で受講する「サテライト方式」での受講も広がっています。いわゆる「**タイパ**」「**コスパ**」を重視した研修のスタイルが広まりつつあることを、当センターの研修会からも感じることができました。

◆地区別受講者数割合



※「新潟県」は、県立施設の職員及び県立学校の職員を示す

対面での研修会 オンライン研修会が増えたことで、対照的に研修会場にお越しいただく「対面」での研修会は数を減らしています。受講者のニーズ、予算削減などの面からも必然的な流れかもしれません。ただ、「対面」には、「オンライン」にはない魅力があることも周知の事実です。実際に対面で実施した後のアンケートからは、「オンラインの研修がいいと思っていたが、**グループや多くの人と話し合いができたので、対面形式もいいと思った**」「（自分は）オンラインでの受講だったが、**会場で受講したかったと思うくらい熱量を感じた**」という声が聞かれます。実際に人と人とが顔を合わせて、生の意見を交換することで「**ウェルパ（ウェルビーイングパフォーマンス）**」の**高い研修になる**ことを実感しているようです。オンラインの良さ、対面の良さを生かした研修会の運営ができるようにしていきます。

